

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570708297		
法人名	伊藤建友株式会社		
事業所名	グループホーム湯沢四季の里		
所在地	秋田県湯沢市西新町9-7		
自己評価作成日	平成23年1月23日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ゆっくり、ゆったり、楽しく、自由に、ありのままに安心してすめる社会作りを指針に掲げ家庭的なケア、愛情をもって支援することを理念としている。湯沢駅から徒歩5分、元電力の寮を改装し、2階建ての建物。お元気な方は階段の上り下りをされ、介護予防につながっております。市街地でもあり、日常の買出しにも積極的に同行頂いております。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	www.akita-longlife.net/evaluation
----------	--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

湯沢駅から5分程の住宅街にあり、立地条件を活かして地域の方々とふれあう機会を多く持ちながら、地域の一員として生活できるよう支援されています。2階建の会社の寮を改装した建物は、内部の段差を解消し、手すりやエレベーターで利用者の安全に配慮されており、階段の昇降によって利用者の身体機能の維持に繋がっています。また、タクティールケアを実施して、コミュニケーションを大切にしながらケアにあたっています。「四季の里通信」に担当職員が利用者の近況を毎回個別に記載して家族に伝え、運営推進会議の内容についても報告されて、ホームの取り組みを理解していただく努力をされています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31		
訪問調査日	平成23年2月8日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループホームの趣旨に沿い、理念を運営者が作成し、理解できるよう機会を作っている。毎月、理念をもとに自分たちの目標を輪番で考え毎日唱和し実践につなげている。	理念は玄関を入った正面に大きく掲示されており、更に職員が毎月独自に決めた目標を事務室に掲示して理念とともに共有し、実践に向けて取り組まれています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会加入、地域住民として交流参加、除雪組合、通学路確保に努め、地域行事を事業計画に盛り込み地域の一員として交流できるよう機会を作っている。	地域の一員として積極的に関わって協力体制ができており、認知症の理解が得られるよう働きかけも行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	キャラバンメイトとして、自施設で地域、家族の方へ伝える機会を作っている。夕涼み会の時、地域の方を呼び、利用者、家族の交流を図っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営状況、報告、毎回テーマに沿って(年計画)認知、災害、健康管理、栄養等報告をサービス向上に生かした取り組み。	毎回検討課題を決めて計画的に開催され、意見交換が行われています。会議で出た意見、提案については職員で話し合ってから次期会議で報告され、利用者家族にも報告されています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議、包括主催の認知症推進会議参加、入居待機者、定員減が出た場合の連携。事故発生時の随時報告している。	広報「四季の里だより」を定期的に送付して事業所の取り組みを伝え、制度上の不明点の相談等、協力を得ながら利用者支援に繋がっています。また、包括支援センターと連携して認知症サポーター養成に関わり、協力関係が構築されています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基準に沿った事項について話し合い正しく理解、マニュアル作成。不必要な施錠はしていない。	常時話し合いの機会を設け、言葉による拘束のないよう注意しながらケアにあたっています。無断外出の利用者にはさりげなく声かけをして一緒に行動し、見守りながら安全面に配慮されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	グレーゾーンについても追究研修している。職員間でのこれはどうだろうと言ったことを話せる機会を設けている。		

グループホーム 湯沢四季の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会はあるが、明確に全職員が把握できていない。必要な方がいた場合、活用できるよう関係者と連携し支援して行きたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が契約書、重要事項説明書を契約時、読み合わせやリスクについても十分な説明、納得していただいている。苦情受付もかねており、市・県の機関も伝えている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付、相談内容に応じスタッフ間で話し合い、運営推進会議への報告、意見を出しやすい雰囲気、利用者担当、フロアリーダー含め運営に反映させている。	電話連絡や運営推進会議、家族会の際等、話しやすい雰囲気を作って意見や提案の引き出しに努め、運営に反映させています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理、健康、栄養に分けた話し合い、定期会議、全体会議を含め、日頃から風通しのよい組織を目指している。	部門ごとの会議や日々の会議でも活発に意見が出され、運営者の訪問時にも意見、提案を聞く機会を設けて、運営に反映させるよう取り組まれています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者との面談、自己診断シート、フロアリーダーとの面談(意見や提案を聞く機会)昇給賞与に反映している。面談時得た情報を元に、職場環境、条件整備に反映するよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会、計画的に内外の研修に可能な限り参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホームネットワーク関係、勉強会、情報交換、他施設事業所との交流研修実施、質の向上につなげている。		

グループホーム 湯沢四季の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員が事前に自宅を訪問し、利用する際の不安の軽減に努め、双方納得した上でのサービス利用につなげている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との要望、本人の要望やいざと言う時の対応、ホームで出来ることを話しあい、理解に深めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者の過去の経験を生かし、共に支えあいの関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話で常に状態を説明、または文書でお互いに理解を深め協力し合っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームで生活していても家で生活している時と、同じ関係が維持できるように努めている。	行きつけの理美容院の利用や墓参り等、これまでの生活習慣を尊重し、馴染みの関係が途切れないよう支援されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士コミュニケーションを図り、環境を整えたり時には仲介に入り、良い環境で生活できるように努めている。		

グループホーム 湯沢四季の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後、手紙、他サービス、利用状況等教えて頂いたり、必要に応じ相談、支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症緩和ケアである「タクティールケア」を取り入れ、利用者と触れ合いスキシップをはかりながら思いや意向の把握に努めている。	アセスメントや家族等からの情報をもとに、利用者の職歴や生活習慣を理解し、本人本位に生活できるよう支援されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式の活用、前担当者からの聞き取り、御家族からの情報を元に、把握に努め支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	家族や担当者からの情報を元に、本人の出来ること・わかる力を見極め、意欲を持って生活できるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、本人の意向確認、主治医、職員の意見も反映している。	3ヶ月毎にモニタリングを行って評価し、6ヶ月を目途に見直しされています。状態の変化に応じた随時の見直しもされており、担当職員のケア記録をもとに話し合い、本人、家族の意向を確認して現状に即した介護計画が作成されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケース記録、申し送り簿を元に実践し、結果、具体策等を毎日の申し送りに行い統一したケアに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

グループホーム 湯沢四季の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	月2回ボランティアの方がこられ、運営推進会議にも参加頂いている。徘徊ネットワークとの連携もある。		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診継続。家族の協力を得て、受診する場合もあれば、家族の代理で受診している。相談出来る薬局があり、追加薬、副作用の情報を教えていただいたり、連携歯科医より、ブラッシング指導、口腔内状態把握し、必要があれば家族に報告し受診につなげている。	利用者、家族の希望する医療機関で受診できるよう、併設の小規模多機能型事業所と連携して支援されており、状態によってはかかりつけ医の往診も行われています。協力歯科医による年3～4回の健診も行われて健康管理され、適切な医療が受けられるよう支援されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師を主体に内服・通院の計画し、適切に受診し、毎日の申し送りのほか急変時には即応している。症状変化に相談できるしくみがある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換は密にしており、状況把握し、早期退院できるよう努めている。家族の意向も汲み取っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時、重度化、終末期について、看取りは出来ない等含め説明。地域、関係者と共に支援しているが、看取りについて今後も検討行っている。	契約時に事業所の方針を説明し理解は得られているものの、今後の課題は多く、対応について話し合うことを検討しています。	事業所の体制や職員のメンタル面のサポートを含めて十分に検討し、取り組まれることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル作成し、緊急時に備えている。全職員が落ち着いて支援できるよう心構えを話し合っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練行い、イザに備える。マニュアル備えている。運営推進会議のテーマに盛り込み、地元消防団との連携。町内単位で協力を仰ぎ、かけつけ連絡網を作成中。	夜間想定を含め、近隣の協力を得ながら年2回の防災訓練の他、毎月避難訓練を実施して緊急時に備えています。	

グループホーム 湯沢四季の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方にあつた対応、心がけ、入浴、朝夕の陰部清拭もそれぞれの居室で行ったり、個浴(介助)としている。	馴れ合いにならないよう言葉かけに注意し、誇りを損ねないよう対応されています。地域に配布する広報に写真を使用する際には、プライバシーに配慮した取り扱いをされています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活で、自由に選べる機会を多く持ち、買い物、入浴など希望を取り入れ自己決定促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調、気分などにより、集団での食事、入浴でなく、本人のペースを大切に、他の方とのバランスをスタッフ間でうめている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	行きつけの床屋、美容院の利用。毎日化粧欠かさない方、髭剃りが日課の方、充電し手渡す。季節に合った衣類の衣替え交換を共に行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	希望食を取り入れる機会を増やして行きたい。一人一人の食事形態を考えて提供し片付けも行っている。	当日のメニューを掲示板を使用してお知らせし、食事時間が楽しいものとなるよう工夫されています。個々の能力を活かした作業が職員と一緒に行われていました。また、通院時や外出時には外食を取り入れて気分転換を図っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調、本人の嗜好を元に、一日の定量を事前にはかり、毎食後の摂取量をチェックし、必要に応じチェック表の記入し日々変化に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、チェック表活用、夕食後は義歯外し休んでいただき、週1回洗浄剤、又、コップ、歯ブラシの清潔のため週1ペースで消毒している。		

グループホーム 湯沢四季の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要な方には、適度にオムツ使用を進め、羞恥心を気遣い、トイレ内での同席をたずねている。	ほぼ全員が自分でトイレを使用しており、職員のさりげない見守りによって支援されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動の促しや食事(食物繊維)乳製品(ヤクルト)飲み、便秘解消努め、状態により便秘薬調整している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	日中の本人の入るタイミング、夜間より日中入浴は贅沢と思っておられ、個々の希望に沿い入浴いただく配慮をしている。	週2回の入浴を基本とし、利用者の希望や体調によって居室で陰洗を行い、清潔保持できるよう対応されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも状況に合わせて、自室や居間で休息できるようにし、安眠できるよう日中なるべく体を動かしていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の個別内服管理、病状の変化があれば主治医へ伝え支持を仰いでいる。協力的な薬局から、新処方追加薬等説明、医師からの説明にて、副作用、用法、用量を確認し理解に努めている。複数受診されている方は二重にならないよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクや外出、コーヒー好きな方もおられ、自宅でされていたこと、又、やりたかったことを大切に支援し、気分転換を図っている。や地域の方の先生を呼んで、習字、お茶、花、絵など文化的取り入れたい。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	本が読みたい方には購入、自宅へ戻りたい時に戻れる、日常的に買い物、床屋は都度希望を取っている。近くの公園への散歩、年間計画に沿ったドライブ計画、天候によっても出掛けたい時外出するようにしている。	利用者の希望に沿って日常的に外出できる機会をつくって買物や散歩に出かけ、地域行事への参加やドライブ等、天候に合わせて積極的に外出されています。	

グループホーム 湯沢四季の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に同行頂き欲しいもの、個別にお菓子や食べたい方の買出し等一緒に行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	声を聞きたいと申し出があれば、電話で安否知らせ安心につなげている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや廊下にはソファーや観葉植物を置き、習字などの作品を飾り、神棚も設置して家庭的な雰囲気を保っている。又、窓が多いため全体的に明るく、エレベーターも設置して快適な環境作りに努めている。	以前会社の寮として使用していた建物を改装し、季節感のある飾り付けをして家庭的な生活空間となるよう工夫されています。洗面所前の廊下にはソファーを置き、休憩しながら順番待ちできるよう配慮されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	死角と見られがちだが、2階建て個室は、常に誰からでも見られている平屋とは違うよさがあり、プライバシーが非常に良く保たれていると思う。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	週一の掃除、利用者のペースに合わせて一緒に行くなど、自宅との環境の誤差を少なくしている。	位牌や使い慣れた物を持ち込み、ベッドや布団を使用して、個々の生活スペースを作り出しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯物を洗うのはスタッフが行うも、自分で居室にもって行き、掛ける場所できる方には行って頂いている。出来ない方にはスタッフと共に洗濯かけを行う。掃除機使用、ぞうきんかけなども用意して行っている。		